



[著者]

清水ヒデキ 豪援隊長
弁護士・移民コンサルタント
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援
けよう」と豪援隊発足。16歳
で単身オーストラリアに留
学。その後、ボンド大学を卒
業し、QLD州弁護士資格取
得。長年に渡り、日本人なら
びに日系企業、世界各国の
クライアントのコンサルタント
業務に従事。



インデックス

- 今月のジョーク 1
- 2月の視点
- 今月の名言
- 12月の視点
- 今月のジョーク 2



<http://zoesangels.org/>
Go オーストラリアグループ
は、Zoe's Angels
「Zoeの天使たち」を
支援しています。



弁護士 清水の

豪援隊かわら版

2月号



今月のジョーク 其の巻 「息子の初テスト」 (ジョーク集より)

うちの息子も1年生。さっそく、学校で「初テスト」を受けてきたらしい。

問「おさかなは1ぴき2ひき、
とりは1わ2わと数えます。ではウマは？」

答「1ちやく2ちやく」

回答用紙を見ながら涙が出た。



2月の視点 「豪は暑いよ」

子供のころ、夏に暑いことを文句言っていたら、「夏に暑いのは当たり前だから、当たりのことを言うな」と叱られた思いですがよみがえってきました。勿論、夏に暑いのは当たり前ですが、なんだか今年の夏は特に暑いですね。そして、雨があまり降らないということもあって、ウチの庭の芝生もすっかり茶色くなってしまっております。

その1 オーストラリア経済は熱い(?)

12月、1月はあまり仕事にならないオーストラリアですが、2月に入ってようやく正常復帰してきたようです。と言っても、王立調査委員会の影響もあり、金融業界はその対応に追われているようで、今までよりもより一層の貸し渋りも表面化してきており、不動産投資を主に行っている投資家のクライアントからは、「最近銀行の提示してくる条件が厳しくなってきた」と愚痴をこぼす方たちもチラホラ。

貸し渋りとなると、市場にお金が回らなくなり、不動産市場をはじめオーストラリア経済にも多大な影響を与えることになりそうです。こうなると叫ばれるのが、いよいよの景気後退、不景気の訪れとなるのでしょうか。景気の指標によく持ち出されるのが失業率ですが、そちらもここ数カ月は5%前半であまり大きな推移はありません。そのためか、特に与党も野党もあまり経済政策においては、強いメッセージを出していないようです。強いて言うのであれば、労働党党首のショーテン議員がある増税を示唆する政策を発表しているようですが、これには退職者をはじめ、国民の多くが戦々恐々です。こうした選挙前に増税を示唆するくらい、次の選挙戦は勝つ自信があるということかもしれません。

ますます目が離せないオーストラリア経済です、

その2 既に選挙戦も熱い(?)

今年に控えているオーストラリアの大イベントの一つが連邦議会選挙です。まだ、正式な選挙の日には決まっているわけではありませんが、既に選挙戦は始まっているようです。

選挙運動として候補者や後援者たちによる各地交差点での「立ちんぼ」も、ちよくちよく見かけるようになりました。それ以外にもテレビを見ていると、各政党による政策広告もこれ以上に見かけるようになりました。

中でも、いち早くそうした活動を始めていたのがクライブ・パーマー氏です。街中でも黄色をバックに自信ありげにポーズを決める看板をあちらこちらで見かけます。少し耳につくテーマソングとともに同氏の政党のテレビやラジオ広告も、一番目に耳にするようになっております。2大政党がまだまだ大きな動きを見せていないなかで、ひょっとしたらこうしたパーカー氏の地道な努力が以外な結果を見せるかもしれませんね。

その3 気になるアイツも熱い(?)

我等がダットン議員ですが、相変わらず熱い(?)です。党首の座挑戦、それに敗れて下野後も、モリソン新首相と号礼下大臣復活。その後も虎視眈々と党首、そして新首相の座を狙っています。その顔貌と人気取りをしようとしめない堅物なキャラクターも手伝ってか、党内のサポートもどんどん失っていつているようですが、まだまだダットン我が道を行くという感じです。

しかし、そのダットン大臣もその存在に困るほどの過激な活動が目立つフレーザー・アニング議員が登場してきました。イスラム系移民を禁止する、白人優先社会の復活等、ダットン議員が内緒ですすめようとしていた政策を次から次へと発言してしまうので、まわりが振り回されているというような現状です。所属する党を次々と首になるような過激思想、過激発言が目立つお方ですが、これだけの過激発言をしても議員活動を続けられるのは、いまのオーストラリアを物語るということかもしれませんね。こうした議員を、オーストラリアという国が今後どう受け止めていくのか、注意して見ていく必要があると思われます。

今月の名言「富野由悠季」 (インターネットより)

「自分にマイナス要素がある、才能的に優れていないからこそ、そのマイナス面を埋めるための努力を死ぬまでではなくてはいけません。この努力は一見辛いように見えます。実際とても辛いです。努力をしないで好きなところにはまって、社会人になってからもずっとマイナスが累積していく人生よりは、マイナス面を埋める努力をして身に付く人間性の良さなどが、より人生の成功への道を切り開いてくれることでしょう。」

富野由悠季のプロフィール
(とみの・よしゆき)

日本のアニメーション監督、小説家、演出家。日本大学芸術学部映画学科卒業後、虫プロに入社し、鉄腕アトム制作にスタッフとして参加。

その後、CMディレクターを経てフリーの演出家になる。海のトリトンで初のチーフディレクターを経験し、機動戦士ガンダムの原作・総監督を務め一躍人気監督となる。

主な監督作品に『∀ガンダム』
『聖戦士ダンバイン』
『伝説巨神イデオン』
『OVERMAN キングゲイナー』
『ガンダム Gのレコンギスタ』
主な小説に『リーンの翼』



今月のジョーク 其の貳 「TV」 (ジョーク集より)

親父「おい！！TVばかり見ているんじゃない！！
外へ出ろ！！」

「最近の子供はメディアに影響され過ぎてるんだ！！
おかしくなるんだ！！
外へ出て実体験をしてこい！！」

息子「うるせーな親父！！
そんなこと、どこで聞いたんだよ??」

親父「テレビでやってたんだ！！」



GO Australia Visa Consultant

Level 17, 300 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: info@goaustralia-visa.com

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月~金 9:00-17:00)
日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月~金 8:00-16:00)

www.goaustralia-visa.com